

常陸大宮市教育委員会 5月定例会議事録

- 1 会議の名称 常陸大宮市教育委員会 5月定例会
- 2 開 催 日 令和6年5月27日（月）午前10時00分から
午前11時03分まで
- 3 開 催 場 所 常陸大宮市役所 行政委員会室
- 4 出 席 者
 - (1) 教育長 小野 司寿男
 - 教育長職務代理者 宮本 亜希子
 - 委 員 橋本 勇夫
 - 委 員 宮田 則子
 - 委 員 菊池 久義
 - (2) 事務局及び説明者

教育部長	木村 隆弘
学校教育課長	小泉 博美
生涯学習課長	小室 修
文化スポーツ課長	掛札 拓也
指導室長	関 好美
学校教育課課長補佐	青山 正樹
学校教育課主幹	梶山 明日香
- 5 報 告
報告第11号 教育長報告について
- 6 議 案
議案第24号 専決処分の承認を求めることについて（常陸大宮市社会教育委員の委嘱について）
議案第25号 令和6年度就学援助費支給額等の決定について
議案第26号 令和7年度に常陸大宮市立小・中学校で使用する教科用図書の採択に関する基本方針の制定について
- 7 その他
 - (1) 各課及び教育委員の行事予定について
 - (2) 常陸大宮市史編さん審議会委員の名簿について
 - (3) その他

8 次回の定例会日程について

9 閉 会

10 傍聴人の人数 4人

11 会議の大要

小野教育長 本日の会議に4人の傍聴希望者がおりますので、報告いたします。

傍聴の方は、注意事項を守って傍聴をお願いいたします。

本日の出席委員は全員です。

ただいまより、常陸大宮市教育委員会5月定例会を開会いたします。

(午前10時00分開会)

小野教育長 本日の議事録署名人の指名を行います。

議事録署名人に菊池久義委員を指名いたします。

本日の会議日程はお配りした会議資料のとおりです。

それでは議事に入ります。

はじめに、「日程2 報告」を議題といたします。

報告第11号 教育長報告となりますので、私の方から報告いたします。

まず、先月から今月にかけての教育委員会関係の行事等ですが、4月26日に教育研究会の定期総会、大変お世話になりました。教育委員さん方の参加のもと、いろいろな協議がされてよかったですかなと思います。

5月2日には市P連の総会がございました。

それから、5月の9日・10日は全国都市教育長協議会が長崎市で行われまして、私と青山補佐で参加してまいりました。全国の市町村の教育長さんがお集まりになるんですけども、同じような課題を抱えている市町村ですか、先進的な取り組みの発表等がありまして、非常に参考になる会議なんですねけれども、反省させられることがたくさんありまして、やっぱりいろんな事業をもっとダイナミックに、大きく考える必要が出てくるなということを痛感いたしました。

それから、5月11日は大宮中を除いた中学校で体育祭を行いました。

5月18日は小学校の運動会がございました。挨拶の方お世話になりました。

西小は秋に行うということですけれども、それ以外の学校は非常にいい天気のもと楽しく、いろんな状況でも一生懸命やる子供たちの姿を見るっていうのは、とても良いものだなと思いました。

5月の21・22日に地域学校協働本部の実行委員会が山方中と大宮中でありますて、順次これから会議が行われます。

昨日26日は、子ども会の育成会連絡協議会総会がございまして、子ども会の方は非常に子供がいなくなってきた状況で、消滅していくところが多いということで、これまでのような形を踏襲しようとしてもなかなか無理なのと、思い切った改革をして、例えば地区が無理ならば学区ですとか、ある程度の人数が集まるようなものを考えていくとか。放課後子供教室が異年齢集団で集まって活動してるわけですけれども、その中に子ども会のエッセンスを組み込んで、みんなで何かを経験するようなものを計画するのはどうかというような意見が出たようございます。行事の方に関しては以上でございます。

その他に、子供たちの参加活動として、5月9日に大賀小学校が鮎の放流を行いました。毎年漁協の協力で行っているんですけども、子供たちは一生懸命大きく育った鮎を川に放流して、環境のことも考えるでしょうし、こういった豊かな自然の中で自分たちが生活してるんだっていうことを実体験できる素晴らしい行事だったかなと思います。

それと、5月の25日は、子供たちが市長とオーガニック米、有機米の田植えを行いました。大賀小学校の子供が十何人でしたかね。

宮本委員 13人です。

小野教育長 13人に参加していただいて。田植えって経験済みかなと思ったら、意外とやったことがない、田んぼに入ったことがない子が多くて、裸足になって

ワイワイやりながら、昔ながらの、竹で線をひいたバッテン印のところに苗を1本ずつ手植えでいくという。私も久しぶりに、寄せ植えではなくて本格的なものを、しかも長い結構な距離をやりまして、昔は田植えって大変だったんだなということを再確認したものでございます。非常に子供たち嬉しそうでした。ぜひ、もしできれば来年もやりたいなっていう風に思っています。

もう1つ、ご連絡ということで、常陸大宮市の不登校の出現率が非常に高いということで、2年前から一生懸命いろんな学校で取り組みをやっていただきました。まずは不登校を出さないということが基本になるので、出現の前に手を打つことを学校で取り組んでいただきました。中1不登校調査という国の調査のノウハウを教育委員会で指導して行っていただいたんですが、やっと少しづつ結果が出てきまして、不登校の出現率が非常に減り始めてきております。このままうまくいけば、かなりの数を減らすことができるんじゃないかなと思います。

それと同時に、学校生活の中で人間関係作りがうまくいかなかつたり、合理的な配慮の必要な子が疎外感を感じて学校に不適を起こしたりというものがあるんですが、茨城大学の正保先生という方が、グループワークを長い間研究なさっていて、10時間分のグループワークをまとめた本があります。1年間を通じて順番に事業の中で行って、人間関係作りの中にいい効果を発揮できるという、非常に役に立つものです。なかなか実践までうまくいってなかつたんですけども、今回、本が完成しまして、大宮中学校の河野先生と常陸大宮市教育委員会の方でモジュールを使った事業の協力をいたしました。それがうまく構成されまして、今回、各中学校の学級担任のクラスと、小学校の高学年向けなので高学年のクラスの担任全員にこれを配布しまして、それぞれ校長の指導のもと、1年間を通じてトータルで10時間分、15分ずつのモジュールにすると1年間続くんですが、1年間終わることによって、学級の中の人間関係を確固たるものにするというものに取り組みます。2年前の他の地区の中学校での実践で非常に効果を上げてい

るものなので、この効果が出てくるのを楽しみに待ちたいと思うところです。

ただいまの件について、質問があればお願ひします。

橋本委員 子ども会育成会関係で、少子化の問題で少なくなってきたるとは思
うんですが、うちの方でも問題になってるんですけど、どういう実態なのか
なっていうのが、後でもし資料でもありましたらお願ひしたいと思います。

小野教育長 わかりました。かなり減っております。参加した会の指導員の代表
の方もほとんどいなかつたですね。事務局の方は何人かきっちと並んでいるん
ですが。色々あるとは思うんですけども。

橋本委員 旧大宮もなくなつたとか。

小室生涯学習課長 そうですね。大宮小、西小、上野小。

橋本委員 実際の子ども会の子供がいる役員と全然関係ない人が本部の役員だつ
たりするので連絡も取れなくて。うちの方で去年から子供祭りをやろうってい
うこと、今支所の方でも大変世話を聞いて立ち上げようとしてるところなんですが、後でちょっとその辺お願ひしたいと思います。

小野教育長 それでは、質問がなければ報告は以上になります。

続きまして、「日程3 議案」に入ります。

議案第24号 専決処分の承認を求めるについて（常陸大宮市社会教育
委員の委嘱について）を議題とします。事務局の説明をお願いします。

小室生涯学習課長 【議案第24号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願ひします。

無いようですので採決に移ります。

議案第24号につきましては、原案のとおり承認することでよろしいですか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第24号につきましては、原案のとおり承認と
いたします。

次に移ります。

議案第25号 令和6年度就学援助費支給額等の決定についてを議題とします。

事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 【議案第25号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

宮本委員 小学校だけがプラス3,000円になったというのは、どういう基準になつたんでしょうか。

小泉学校教育課長 こちらの金額につきましては、説明の中で、国の方の生活保護費と同額ということで、令和6年度の単価を示されたものになります。

その中で、小学校分が3,000円上がって57,060円となっておりますが、実は昨年度については中学校のみが60,000円から63,000円といった経緯がございまして、今回、1年遅れで小学校の単価が見直されておりますので、よろしくお願ひいたします。

菊池委員 卒業アルバム代が、小学校が11,000円、中学校が8,800円なんですけれど、これは実際はどのくらいの金額かかるんでしょうかね。

宮田委員 学校によってかわるかと。

小泉学校教育課長 こちらは昨年度の定例会で同様の質問がございまして、まず、小学校が今回11,000円、中学校が8,800円ということで、印刷製本にかかる小学校よりも中学校の方が人数が多いということで、人数が多ければ単価が安くなるということで、説明をさせていただいています。その中で、実際にどのくらいかかるかというと、子供たちの数が少なくなればなるほど、この金額よりも多い金額の支出があるのではないかという風に考えているところです。

橋本委員 以前ですと、原本、型を作つて印刷つていうことなので、人数が多くなればそれだけコストが下がつてくるっていうのが基本だったのですけれども、

最近はコンピューターを使っての印刷製本になってくるので、型を作るっていう作業がなくなってくるので、ほとんど変わらなくなってきたのが現状です。多分そんなに金額が変わらないんではないのかな。実際に聞いてみると、この金額では。自分が経験した中では2、3万かかるような気がするんです。

宮本委員 ちょうどうちの子たちが卒業式を経て、また、人数が少ない学校なので話題にはなるんですが、保護者もどうにか価格を抑えようっていうことで、インターネットを通じて保護者が骨を折って自分たちで写真を選んでも、一桁の学年の子たちは2万円、場合によっては3万円近く。それでも骨を折ってくれる保護者がいるのであればそれぐらいで済むんですが、そういうことができる保護者ばかりではないところは、アルバム屋さんに頼むと、それこそ3万円では済まない。まだやっぱり冊数を多く頼んだ方が安くなるっていうのが現状だと思います。やっぱり大きい西小とか大宮小の保護者の方に聞くと、もういくら集めたかわかんないよっていう。なので、1万円前後で済んでいるっていうのが、私が聞いた話です。

小野教育長 これ限度額ということで、ある程度の基準が示された上でのものということなので、大宮だけ安くやってるわけではないんでしょうけれども、実際の値段から見ると、かなり乖離している金額だっていうことなんですね。

橋本委員 だと思っています。県からの補助金関係もあってなのかなとは思うんですけども。以前ですと、結構高かったと思うんですよね、今以上に。自分たちがやってる頃は高かったと思います。表紙も随分良くなっていますよね。紙でさえ厚いので。しかも今はCDなんかをつけたりもしてるんですよね。ちょっと実態として検討していただければと思います。

宮田委員 コストが決まると、児童生徒数の少ない学校は1人1冊になったら単価が非常に高くなってしまうわけですよね。本当に学校でもいろんな方法を取り入れながら、以前から苦肉の作でやってると思うんですね。生徒の現状が

目に見えて毎年減ってるわけですから。ですから、結局、小学校も中学校も卒業費アルバム代みたいな感じで、積立金もしてますけれど、やっぱりこれは基準っていうしか出しようがないような気がするんですよね。

小野教育長　　卒業アルバムって日本独特のものかと思ってたらそうでもないんですが、外国ではイヤーブックって言いまして。ただ、豪華なものとか、全体で誰もが同じものを持つっていうものは、日本とか隣の韓国とか中国あたりなんですかね。

大きな学校だと人数分さばけるので安くなるっていうところは当然あると思うんですけど、学校で撮った写真のデータをクラウドにあげておいて、自由に保護者が自分のパスワードを使って、その写真を自分の子供の分だけ取れるようにやっていて、だから6年間分、小学校は全部写真持ってるから、アルバムいらないわっていうところもあるらしいんですよ。それでアルバム作らなくなったり。今度は個人情報の肖像権の問題で、顔にぼかしが入ってる写真とかになると、なんだか変な写真ばかりで、自分の子供だけ顔が写ってて、他の子供が写ってないと。やっぱりちゃんとしたアルバムが欲しいと、昔のスタイルに戻っているところもありますし。アルバムっていうのは大変な課題を抱えているものだと思います。作成委員を作って、どんなものを作りたいかっていうことを子供と学校とで話し合いしているのが現状かなと思います。

あとお金の問題。宮田委員さんからもありましたけれども、いくらかかっても良いというわけにはいかないし、ある程度の適正価格っていうものを校長会あたりで調整をしながらやっていくところがあるかと思うんですが、これから課題にはなってくると思います。知らないって本人もいたりするんですよね。

宮本委員　　正直、知り合いで不登校のお子さんを持つ保護者の方は、卒業アルバムいらないよっておっしゃってました。

小野教育長　　学校ごとにも色々難しい問題が出てくると思うんですけども。

他にありませんか。無いようですので採決に移ります。

議案第25号につきましては、原案のとおり決定することでよろしいですか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第25号につきましては、原案のとおり決定といたします。

次に移ります。

議案第26号 令和7年度に常陸大宮市立小・中学校で使用する教科用図書の採択に関する基本方針の制定についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長・関指導室長 【議案第26号について提案・説明】

小野教育長 説明が終わりました。質問があればお願いします。

無いようですので採決に移ります。

議案第26号につきましては、原案のとおり可決することでよろしいですか。

各委員 〈異議なし〉

小野教育長 異議なしと認め、議案第26号につきましては、原案のとおり可決といたします。

以上で、議案が終了しました。

続きまして、「日程4 その他」に移ります。

(1) 各課及び教育委員の行事予定について、事務局の説明をお願いします。

小泉学校教育課長 外 【行事予定説明】

小泉学校教育課長 【教育委員の予定説明】

小野教育長 ただいまの件について、質問があればお願いします。

無いようですので、(2) 常陸大宮市史編さん審議会委員の名簿について、事務局の説明をお願いします。

掛札文化スポーツ課長 【名簿について説明】

小野教育長　　ただ今の件について質問があればお願ひいたします。

無いようですので、（3）その他について　事務局又は委員の皆さんから何かありましたらお願ひします。

宮本委員　　スポーツ少年団関係なんですが、市から補助をいただいていて、活動するのに本当にありがたいところなんですが、登録料が物価高とかの関係で上がってる団体もある。すべての団体ではないと思うんですが。なので、もしそういう団体から何か話を聞く機会があったら、そういうところを見ていただいて、予算を上げていただくのもなかなか難しいことだとは思うんですけど、一応そのように上がってきてるというのをお伝えしたいなと思って、話させてもらいました。

掛札文化スポーツ課長　　今月ですかね、先週の金曜日だと思ったんですが、スポーツ少年団の総会を行いました。特にそういった声はなかったのですが、実際の影響もございますし、こちらも加味しながら予算要求等も踏まえて考えていきたいと思います。あと、補助金につきましては、うちからスポーツ協会の方に補助金を出しておりまして、そこから各少年団に行くような形になってると思います。

小野教育長　　他にござりますか。

菊池委員　　私、今度委員になります。入学式、体育祭の方に参加して、新型コロナウイルスが感染前と、そして今比較的落ち着いてきたということで。学校行事の見直しで上手に行ってないなって自分なりに感じた点があったんですね。

3つあるんですけど、1つは、入学式、始業式の来賓の出席が昨年あたりから行われると思うんですが、私は大宮小学校と山方中学校の入学式に出ました。議員さんや学校評議員、大宮小学校だと区長さん、民生委員の代表の方とかが出ているんですけど、小中学校の連携で大事だと思われる校長先生、教頭先生たちが出席されてないと。私がやってた頃は出て、例えば小学校の卒業式に行くと返事のできない子供がいたなんていうことを持ち帰って、中学校で引き継ぎする時に、ここもしっかり引き継いでねっていうことで聞いてって

いう情報交換したんですけど。以前は出てたけれども、新型コロナウイルスで見直されて。収まってきてるのだけども同じような状況のままいっているのかなと感じた部分もあります。本市の教育の場合、学力向上であったり、不登校の対策であったり、その辺は小中連携を十分に図っていくことが効果を上げていくと思われるので、学校の中で行事の見直しをしっかり行っていかないとならない部分なのかなと感じたところですね。

それからもう 1 つ、運動会も体育祭も半日ということで、これからも半日ということが定着するんだと思うんですね。そこはいいんですけども、以前に行われていた種目で、コロナを機会に削ったものが、削ったまま今回の種目として復活してないなって感じた部分があるんですね。小学校や中学校の運動会、体育祭っていうのは本当に地域と密接に重なってて、地域のコミュニティの継続であったり文化の継承であったりと深く関わっていると感じているんですよ。例えば山方で言えば、山方音頭を小学校で 6 年間、中学校で 3 年間踊ること、あるいは耳にすることを通して、なんとなく自分の中で覚えていく、あるいは山方の地域の一員として自覚を深めていく。そうしたものを感じて、10 年後、20 年後、子供たちが山方に戻ってきたり、夏祭りに参加し地域を盛り上げることにも繋がっていくのかなと感じるわけなんですけども、今回、山方小学校も山方中学校も山方音頭はなかったんですね。山方小学校は山方ソーラン 2024 があったんですけども、私は、それよりも、地域の密接な山方音頭だつたりを小中連携して 9 年間行っていくといったところが、将来の郷育立市とも関わると思うんですよ。自分たちの市、地域のありがたさとか尊さとかを感じていくと。もう一度見直しを図って種目の選定してほしいなといった思いを抱きました。私ここで勤めたのは美和中学校と山方中学校ですけども、美和村は山方よりももっと人口減が切実な問題だったので、美和音頭については小学校で踊って中学校で踊って、さらにスローガンを子供たちに呼び掛けていた。例

えば夏だ祭りだ美和音頭とか、みんなで踊ろう、心ひとつに美和音頭、そうした子供たちが考えたスローガンが掲げられて踊ったり。こうした子供たちの中で、先ほどの山方音頭と同じですけども、美和に対する親しみであったり、あるいは大きくなつてふれあい祭りに参加して、こうした土壤を培っていくものかと思うんですね。こうした意味で、非常に大事な小学校の運動会、中学校の体育祭かと思うんですが、見直しの中でカットされて、さらに新たに体育祭、運動会を作っていくときに復活できていない。その辺りが郷育立市といった点からもどうなのかなという思いを抱いたんです。他の学校の様子はわからないんですけど、美和の様子であったり御前山の様子であったり緒川の様子であったり、常陸大宮市といった中でも周辺の人口減の進んでるところにとっては、その地域コミュニティが存続していく、その中で若い人たちが同じような文化を継承して育っていく、あるいは大きくなつてから戻ってきた時に一緒に踊る、こうしたものがなくなつてしまふ。それを防ぐのも学校教育の役割なのかなと感じました。他の地区はどうだったのかなという思いもあります。

小野教育長　　はい、ありがとうございました。いかがでしょうか。体育祭たくさん出ていただいたと思います。

宮本委員　　大賀小学校は、小学校の運動会だけでなく地区の運動会も一緒にやっているので、大宮音頭をずっと踊っていて、なおかつ1番最後の種目なので、皆さんご参加くださいっていうことで呼びかけて、おじいちゃん、おばあちゃんも踊るし、踊れない小さい子たちも一緒に来て、ほんとに運動会の締めっていう感じで、すごくいい運動会だな、みんな参加できてっていう、まさに菊池先生おっしゃったように、地域の方と一体となってっていう感じで、大宮音頭踊ってすごくいいなと思ったんですが、逆に、地区のそういう踊りを踊らないっていうところがあるんだっていうことに、今ちょっとびっくりしました。

菊池委員　　コロナで3年、4年抜けてしまった学校からすれば、指導が大変だと、

新しい先生たちに入れ替わったとか、そうしたところもあるかと思うんですけど、生涯学習課の方で対応している地域学校協働本部とかに熱く呼びかけば、喜んで指導してくれるんじゃないかなと思うんですね。地域の方が指導にきてくだされば、自分たちが指導した子供たちですから下手でもきっと文句を言わないと思うんですよ。6年間、あるいは中学校を含めて9年間の中で、こんな風に踊れるようになった、音楽を聞くと中学校の頃を思い出すなとか。そうした地域と密着した児童生徒の教育の一環としてできないのかなと考えたところなんです。大賀はやられているということでいいなと思います。

橋本委員 私も今回入学・卒業式、そして体育祭があったんですが、3点ほど引っかかるところがあります。

まず1点目は開催日程ですが、中学校の方で平日木曜日に2校、いろんな考え方があるから、それは反対とか賛成じゃないんですけれども、保護者とかに公開をしようとする時には、集まりやすい日程を組んであげるのが1番いいんじゃないかなって思っています。ですから、公開しないでクラスマッチ形式でやりますっていうんだったら、それはそれで十分目的が達成できると思うんです。ただ、公開するとなつた時には、やはり集まりやすいような。何人か保護者、近くにいる人に聞いてみましたが、平日が良かったという人は1人もいませんでした。ということは、学校と保護者との話し合いができるていないんです。連携が取れていれば問題はないと思うんですが、そういう運営って本当にいいのかなっていう不安と、信頼関係がないなっていうのを感じました。

もう1つ、先ほどから協働本部に声かけましょうとか、ボランティアを受け入れて協力してもらいましょうって訴えてるので、そこでお世話になった人たちに学校の様子を返していく機会も持たなきやならないのかなって私は思っているんです。体育祭とかいろんな行事に招待して、子供たちの様子を見たり、子供たちからお礼の言葉が出るとか、そういう様子を公開するっていうのも大

切なことなんじやないのかなって思っています。ですから、そういうところが潰れてきてしまうのかなっていうのが1点です。

それと似たようなところで、来賓関係なんですけども、以前ですと、お世話になった人とか、いろんな方が来賓として呼ばれたりしました。美和小学校の卒業式に出たんですが、8名の卒業生で、美和地区の区長は1番少なくて8名なんですが、地元の区長の他に諸々の人たちを呼ぶと、児童よりも来賓の方が多くなってしまうものもあるので配慮したこと也有ったらしいんです。体育祭、運動会では、区長も呼ばれていました。ですから、その辺の説明をしたりして、わかってもらえるような連携っていうのは大事なことなんだろうなっていう気がしました。

あともう1点、やはりコロナ明けっていうことで、以前1つ1つが協力的な大切なものがわかつたはずなんです。御前山小に行って、隣に議員さんがおられて開会式の様子を見てた時に、エールの交換があったんです。お互いに競い合いましょうということと一緒に、白組赤組を応援して、終了すればノーサイドだみたいな、応援で対抗するためにはエールの交換は必要なものだと思ってるんです。ところが、だんだん簡素化されていくって、ただ紅白挨拶みたいなので終わってしまうとか。指導する側も狙いを持ってやっていけるようだ。そういうものを煮詰めていくのはどこでやるのかっていうと、地元の先生方ばかりではないですので、校長会とか教頭会とかで、行事の調整ばかりじゃなくて、内容についてとか運営についても深く情報交換をしながらやっていかないとならないんじゃないかなって思っています。そういう機会がなにかでできないのかなと思いながら参加させていただきました。

宮本委員 平日開催に関してなんですが、私の周り、大宮中の保護者で聞いたんですけど、PTA会長さんに聞いたところ、特に保護者から平日だからっていうことで意見はなかったっていう話でした。私の周りでも、土日の方がいいよ

ねっていう話はなくて、お母さん方にとっては、給食が出るから、お弁当作らなくていいねっていう話が出てたぐらいでした。ただ、先生方の働き方改革っていう話が上がってきながら、働き方改革だからしょうがないよねっていうことで、保護者が先生方に相談したいとか、なんか言いたいっていう時も、自分の意見を言わないでっていう保護者も結構多く周りでいるので、果たして納得して平日でもいいよねと思っているのか、それともしょうがないねって言って受け入れてるのかっていう、本音の部分まではわからないです。

橋本委員 保護者のしようがないよねっていう中には慣れっていうものが、大宮中は3回目ですから。明峰中の場合は初めてだし、保護者にいつ伝わったんだといつたら、1年生の保護者は入学してからしかわからないことでしたから。聞きかじった話では、給食が出るから保護者は弁当作んなくてもいいよねっていうのは明峰中でも出てました。そうなんだってって、ちょっと情けない気がしませんか。保護者のためなのかもしれないんですけども、学校のそういう計画を餌にしながら、もしあ昼ぐらいはみたいなところも、あんまり表に出せないですよ、いろんな家庭環境がありますから。でも、そういうところじゃないのかなって思いながら言いました。

宮田委員 私、今回は、卒業式とか入学式とか、体育祭、運動会、そういうので市内のいろんなところに行く機会も増えてきました、感じることあるんですが、まず、学校行事に対して来賓の問題がありましたよね。小中学校っていうのは地域の学校で、地域が非常に大事にされているので、ある地域では区長さんはいらして、でもこの地域はいないとかいう来賓のあり方とか。それから、体育祭、運動会の種目についてですが、半日開催になって制限されてきてますので、集団の発表をする体育祭、運動会で、競技を中心にするのか、演技を中心にするのか。両方がバランス良くあるのが1番いいと思うんですが、昔だったら、組体操など時間をかけたおかげで、生徒同士の絆とかも育てられたような

気がするんですね。コロナの後に半日開催ということもあって、メリットもあるし、デメリットもあるし、保護者の声もあるので、何事につけても、学校行事を行った後の反省や声の積み重ねが必要なんじゃないかな。教育委員会としても、昨年初めて小学生向けに宿泊学習、ふれあいの船に変わることをやりましたよね。そういうものが開催されて、その反省をまとめて今年度に持っていく。教育委員会もかなり関わっているわけですから、そういう反省を次年度につなげる上で何らかの形で話し合っていくべきなのかな、そんな感想をもちました。以上です。

小野教育長　　今いろんな話を聞いていて、私は中学校が長かったもんですから。中学校って春の時期はクラスマッチなんですね、校内陸上大会。秋の体育祭は、部活動もあれば、入ってくる小学校6年生を招待するものもある。地域のPTAの代表の人たちと中学生が対抗する、教員が入っていたりとか、その地域そのものがよく運営されていたなど。これが、コロナと働き方改革の風によって、簡素化されたっていうか、簡略化ですよね、はつきり言って。ただ、その簡略化された中に、ものすごく大事だったものがみんな無くなっちゃってきていると。特に学校としては絶対に譲ってはいけなかったものの中の1つに、地域との連携っていうものがあると思うんです。体育祭をどう扱うかは、もう何年も前から体育の授業の延長のものだっていうことで、授業的な扱いとしかやらないところもたくさんあります。体育祭を2年に1回にするところもありますし。そういった点を考えると、この地域の大切にするものは何かっていうことを再確認することが必要な時期なんだなっていうことはよくわかりました。

今まで教育委員会として校長会に参加していろんな意見とお願いをしていたんですけども、それにプラスアルファとして、校長会参加の前に校長会長と教育長で話し合いをする時間を今年から取るようにしました。4月、5月と2回やったんですけど、その中で今お聞きした教育委員さんの意見をしっかりと

伝えたいと思います。そして、校長会としてどういう考え方をするのか。それぞれ校長が持っているイメージもありますし。校長を始めとする教員の意識だなという風に思います。それと同時に、地域が学校に対して要求をする。学校が地域にお世話になってると同時に、地域だって学校があるんだから、自分たちは協力してるんだから、せめて体育祭に地域もとか、もっとお互いに話し合いができるようになるといいなって。お母さんのお弁当の件だって、実際にはそういうこともあるかもしれないけれど、心配するなど、みんなで作って持っていくからとか。そういうことできますよ、きっとね。昔は、地域で来られなかったお父さん、お母さんの分は、誰かが持ってきていて、こっち来なって言って、親が来てない子供と一緒にテントの下でご飯食べてました。それってものすごく大事なことだったんだと思うんですけど、それは学校があったからできたことだと思うんですね。そういうものを大切にしたいっていう意識があるってことは、我々の意見として校長会の方にお伝えしたいと思います。

他に事務局の方からありますか。その他ということでおろしいですか。

無いようですので、続きまして、「日程5 次回の定例会日程について」 事務局からお願いします。

小泉学校教育課長 (6月定例会について日程調整)

小野教育長 それでは、次回定例会は、令和6年6月25日 火曜日、午前10時より開催することにいたします。

以上をもちまして、常陸大宮市教育委員会 5月定例会を閉会いたします。

(閉会: 午前11時03分)